

## 新たな年度を迎えて

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

また新しい期が始まりました。少し遅れましたが期首の挨拶をさせていただきます。昨期の成績は、増収増益と過去最高の成績を記録いたしました。

誠にありがとうございます。



代表取締役社長 吉田治伸

しかしながら、この成績を手放しで喜べないのは、この4月には昨年冬から始まった不況により、過去最高の解約、減額を経験した事です。新たに2件の指定管理者物件を頂戴したこともあり、何とか今期も増収をねらえる位置にありますが、今回の厳しい契約更改は、「**今年、手を抜いたら、えらいことになる**」を予感させるものです。

当社は、ビルメンテナンス業として実に多くの仕事を行っていますが、クレームもおほめの言葉も、「笑顔、あいさつ、報連相、身だしなみ」に関する事が多いのであります。そして残念ながら、マナー研修でお伝えの通り1+1+1+0=0なのであります。多くの責任者が9割の人間ができていると言います。しかし、お客様は、たった一人の出来ていない人を見てできていないと言うのです。我々は、この数年の頑張りで多くの「価値」に気づきました。それは、笑顔で働く価値であり、カッコ良い姿勢で働く価値であります。たった一人も脱落することなく、全員で「約束」を守り、この1年もまた多くの方に感動を差し上げ、多くの「ありがとう」を頂戴することが唯一の来期の契約につながる道であると確信しています。

今年度も忙しい年になりそうですが、今期もまたお客様、社員の皆さん、会社が少しずつ幸福になる事と仕事を通じて地域の発展に寄与できることを心から祈願いたすとともに、誠心誠意努力するとお誓い申し上げます。